

段ボールで作る恐竜チェア

ちばテク我孫子校 NC機械加工科



令和元年12月25日(水)アビスタ工芸室にて、公民館講座「段ボールで作る恐竜チェア」が開催されました。

当日は、定員に対し4倍の応募者の中から抽選で選ばれた、小学1年生から小学4年生までの親子6組14名が参加しました。講師には、ちばテク我孫子校から講師1名、指導員2名を招き作り方の説明などをしていただきました。

作業中も実演を交えた説明があり、参加者は楽しそうに作業していました。どんな種類の恐竜ができあがるのかな?本当に座れるの?想像以上の作品ができあがり、嬉しそうな笑顔がこぼれていました。

どんな恐竜が
わかりましたか?

Pick Up 物づくりの楽しさを体験してほしい!

「段ボールで作る恐竜チェア」でご協力頂いている「ちばテク我孫子校」の園田校長に今回の講座についてお聞きしました。

Q. 昨年は「親子でミニ門松づくり」今回「~恐竜チェア」づくりの実施については何かきっかけがあったのですか?

A. きっかけというか、6年前県が「未来の名工チャレンジ」ということで、小・中・高生を対象に物づくり体験会の事業を始めました。物づくり体験を通して物づくりの楽しさを体験してほしいということですね。

Q. 「段ボールで作る恐竜チェア」のアイデアはどこから?

A. ひな型はありましたが、図面から起こしました。小学生は、昆虫がいいか恐竜がいいか。段ボールを使い実用可能な物ということで、躯体部分は8mm厚の硬い段ボールを使うなど、構想や実現に3ヵ月を要しました。

Q. 苦労されたことなどありますか?

A. NC機械という精度の高い切削ができる機械を使って加工するのですが、段ボールの特性を考えて加工することや大きさの問題で試行錯誤しました。

Q. これからやってみたいことや何かお考えになっていることなどありますか?

A. NC機械加工科と造園科のコラボでしょうか。竹垣の竹など素材のコラボで、「つりしのぶ」を考えているところです。

「ちばテク我孫子校」は、若い世代に物づくりの楽しさ、高い技術力を伝えるために、伝える側もいろいろなことにチャレンジし、興味、好奇心、道具を使うなどの難題と完成度の高さ、達成の喜びに至るストーリーをしっかりと作り上げていました。



答えはトリケラトプス



園田校長



令和2年2月発行

生涯学習 情報

我孫子を
知る1年
市制施行
50周年

第38号

ここでは、生涯学習センター(アビスタ)・湖北地区公民館(コホミン)を中心に、「まなび 活かし つながる」生涯学習をより身近に感じてもらうために、様々な学習やイベントの情報を発信していきます。



日本で唯一の鳥の博物館

日本で唯一の鳥類専門の博物館が「我孫子市鳥の博物館」(通称鳥博)です。テレビ東京「出沒!アド街ック天国」で取り上げられ、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。「人と鳥の共存をめざして」をテーマに平成2年5月22日に開館しました。市制20周年記念事業の一環として(財)山階鳥類研究所ほか関係機関等を招き開館記念式典が行われ、実物のはく製や標本類約450点のほか絶滅したエピオルニス巨大卵の化石や始祖鳥の化石の復元模型なども展示されました。

常設展示では、目の前に広がる手賀沼の自然とそこに生きる鳥たちの生態をジオラマやビデオなどで紹介しています。令和2年の今年、開館30周年を迎えます。30年の歩みの中では、東日本大震災や急速なITの進展など、世の中を大きく変える出来事がありました。さて鳥たちの世界ではどんなドラマチックな出来事があったでしょう?

市制施行50周年「我孫子を知る1年」として皆さんもこの世界的にも珍しい、我孫子の博物館に足を運ばれてはいかがでしょうか。(次ページに鳥の博物館館長のインタビュー記事を掲載しています)



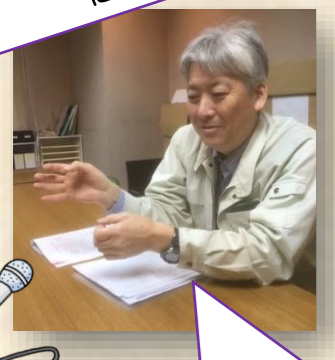
編集・発行

我孫子市教育委員会生涯学習課 企画調整担当(アビスタ内)

住所:我孫子市若松 26-4 ☎ 04-7182-0511

人財!!+topics

これから先のさらなる発展
に向けて



地域の自然に愛着を持ってもらうことを目標に鳥を介して子どもたちにも興味をもってもらいたい。いずれリニューアルするときには**収蔵と展示を兼ねたバックヤードツアー**などもやれたらいいですね。

今年30周年を迎える「鳥の博物館」の齊藤館長にお話を伺いました。

Q. 鳥博には珍しい鳥の展示もありますがどのように集めているのですか？

A. 全国のいろいろな人たちの協力があるのですが、例えば何らかの原因で亡くなった鳥を送って頂いたり、個人のコレクターの方から有効に使ってほしいと寄贈して頂いたりしたものもあります。外国の珍しい鳥はワシントン条約で輸入できないものが多いので、国内の動物園で亡くなった鳥を頂いたりしています。現在展示しているものが約千点その他倉庫に約二千点あります。資料は増える一方なので、所蔵する倉庫が手狭になっていて、保存場所の心配もありますね。

Q. 本物のはく製や骨の標本がほとんどのことですが、そう考えると宝の山と思えるのですが。

A. そうです。以前ですと標本を見ながら年代の古いものから順に並べていましたが、今は科学の発達でDNA分析ができるようになったため正確な年代や系統がわかるようになり、今までの常識がひっくり返ってしまうんです。また、生息している鳥を観察していると、鳥が人を頼った生活に変わってきていることがわかります。夕方から駅前や街に集まるムクドリや、24時間営業のガソリンスタンドでは虫が集まるので、夜に活動している鳥もいます。鳥も環境に応じた変化をしているということですね。

令和最初の成人式！

令和2年1月12日(日) けやきプラザ ふれあいホールにて「令和2年成人式」が催されました。オープニングでは中央学院高校チアリーディング部『POP STARS』による活気ある演技が行われ、祝賀ムードを盛り上げました。また、市制40周年(平成22年)記念事業として小学5年生を対象に実施したタイムカプセル「二十歳の私へ」の開缶セレモニーが行われました。10年前、当時小学5年生だった新成人には思わぬサプライズとなりました。



のびのび親子学級 OG 活動中！

令和2年2月6日(木) アピスタ工芸室で、のびのび親子学級のOG「のび30」というグループが学習活動をしているところにお邪魔しました。「のびのび親子学級」は公民館講座の一つで2・3歳児と保護者が親子で一緒に楽しみたい、子育ての輪を広げ育児も育自も楽しもうということで1年間学習していきます。卒業後も学習を継続したい方々が継続学級として、グループを結成し学習活動をしています。この日は「生涯学習出前講座」の上村真知子講師による「ハーバリウム(植物標本)～癒しのインテリア～」の制作を楽しみました。



生涯学習出前講座利用してみよう！

講師メニュー表はアピスタ・市役所・湖北地区公民館・我孫子行政サービスセンターに配架されています。ホームページからも見れます。



～つなごう、我孫子の力を 次の世代へ～



戦前幻の東京オリンピックを招致した嘉納治五郎は、1911年我孫子に別荘を設けます。1914年治五郎の甥にあたる白樺派の柳宗悦が新婚の兼子と治五郎の別荘向かいの三樹荘に住み始めます。宗悦は手賀沼の風景の中で志賀直哉、武者小路実篤らと若き日を過ごします。宗悦の長男として後にインダストリアルデザイナーとなる柳宗理(1915-2011)が幼少期を過ごした場所も我孫子でした。その宗理がデザインしたものが1964年東京オリンピックのトーチホルダーです。1972年札幌オリンピックの聖火台なども手掛けています。嘉納治五郎にはじまり、甥の宗悦、兼子との間に生まれた柳宗理へと続くオリンピックへの奇跡のようなホントの軌跡。2020年7月4日我孫子に聖火リレーがやってきますが、そんな物語を思いながらリレーをご覧になってはいかがでしょうか。 文/稲村学芸員



1988年ソウルオリンピック ユニフォーム

地域で自分ができること！

長寿大学44期生の授業では、「地域で自分ができること」をテーマに6つのボランティア活動グループを立ち上げ、半年間のボランティア活動の報告を発表しました。活動グループは①公共機関の清掃活動②趣味を生かして福祉施設の訪問ボランティア③メダカの飼育④健康マージャン⑤福祉施設でのお手伝い⑥我孫子の景観を育てる会(谷津活動友の会自然環境保護活動に参加)で、天王台北・こもれび近隣センターの清掃活動やここにこ会(長寿大学OB)との共同企画で演芸活動、和楽園・久遠苑でシーツ交換や清掃活動など行いました。参加者から「活動は大変ですが、いかに継続することが大事であるかがわかった」「自分も楽しく、世間に役に立つことをしたい」などの感想がありました。地域に貢献できるよう、学生たちの活動を見守って行きたいですね。



我孫子の桜を楽しむ

- ☆ 3月30日(月) 第17回市民観桜会～我孫子ゴルフ倶楽部～
- ☆ 4月4日(土)・5日(日) あびこ桜フェア2020 ～手賀沼親水広場～

※イベントの実施については変更になることがあるため、下記イベントカレンダーやホームページにてご確認ください。

その他のイベント情報は右記のQRコード「イベントカレンダー」からご覧ください。



QRコード